

天災を忘れず、そして恐れず モーニングセミナーで防災講話



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、10月28日（水）ANAクラウンプラザホテル新潟（新潟市中央区）で行われた新潟市倫理法人会経営者モーニングセミナーにおいて部外講話を実施しました。これは、新潟市倫理法人会の会長である高橋 英樹（たかはし ひでき）氏の依頼により、広報室長（1陸尉 鈴木勝太）が「災害派遣に係る自衛隊の活動」をテーマに近年発生した災害に対する自衛隊の災害派遣活動状況と企業等に在籍しながら活躍する予備自衛官等制度の説明をしたものです。

当日は、新潟県に所在する企業の経営者等約45人が参加しました。講話では東日本大震災や平成30年に発生した豪雨災害を例に挙げ、その際出動した自衛隊による人命救助、生活支援等の災害派遣活動を取り上げました。

また、災害時に招集を受け活躍した予備自衛官及び即応予備自衛官の実例を紹介し、自衛隊未経験者を任用する予備自衛官補の制度にも触れました。制度の紹介に併せて、予備自衛官を実際に雇用している企業の声や、地域社会への貢献、企業のイメージアップに繋がるなど、予備自衛官を雇用することのメリットも強調しました。



講演終了後、参加者からは「自然災害の恐ろしさを再認識したと同時に、あらゆる事態に常に備えている自衛隊の存在を本当にありがたく思った」、「退職してからも、自衛官としての気概を持ち続ける予備自衛官の素晴らしさが良く伝わってきた。（雇用を含め）前向きに検討していきたい」との感想が聞かれた他、「弊社でも講演をお願いしたい」と防災講話の依頼もありました。

新潟地本は、今後も自衛隊の活動を積極的に発信し、自衛隊への理解を深めるとともに、予備自衛官のPRを続けて行きます。